



進路だより

R2.10.21
第2学年 7号
《受験生切り替え号》
安古市高校進路指導部

＜受験生への切り替え＞

2学期中間考査も終わり、受験生へと切り替える時が来た。「受験生になる」ためには「コンスタントな学習(量)」と「戦略的な学習(質)」が不可欠である。この2点をチーム2学年で共有し、高い意識を持って、今2年生全員でスタートを切ろう。

受験生になる(1)

コンスタントな学習

- ① 3点固定 → 学習開始時間を固定する。
- ② 平日220分 220分
 自宅学習 21:00～24:00(180分)
 早朝学習(HR) 7:50～8:30(40分)
- ③ 学校を休まない = 授業第一

受験生になる(2)

戦略的な学習

- ① 大学入試から逆算 → 教科バランス
- ② 入試は合格点
「合格最低点」を超えるための勉強

＜教科バランス＞

教科バランス(モデル)

文型 = 英 : 国・数 : 理・地公
 1日平均 90分 : 70分 : 50分
 1週間計 630分 : 490分 : 350分

理型 = 英・国・社 : 数 : 理
 1日平均 70分 : 70分 : 70分
 1週間計 490分 : 490分 : 490分

**国数英の基礎固めを継続
+ 理科・地歴公民をスタート**

「戦略的な学習」のポイントは、教科バランスにある。左は2年生後半の平日の時間配分、つまり平日210分をベースに配分したモデルプランである。受験生への切り替えには共通テストの7・8科目に対応した「理科・地歴公民」の本格スタートが求められる。しかし実際には、英数に不安を抱えた生徒もまだ多い。

したがって、英数の基礎固めは平日毎日70分・60分かけて継続する。合わせて、理型は理科を毎日70分として優先的に取り組む。**ただし、英語・国語の時間を極端に減らすことがないように注意が必要である。**また、理型の地歴については当面授業や定期考査を中心に取り組んでいこう。

休日は、週末課題だけではなく、平日の不足分を補うことができるよう学習時間を確保しよう。

<学習スケジュール>

大学受験は、大学入試当日までに、準備が間に合うか間に合わないか、の競争である。では今後どのように学習を進めていけばよいだろうか。下のスケジュールに沿って進めていこう。

文型

	現在		3年0学期				3年										
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
倫理	2年生のうちに完成										(自分で演習)				最終 仕上げ		
政経	(未履修) 時事問題に関心を持って過ごす						習いながら仕上げていく										
日本史or地理 or世界史	習いながら仕上げていく																
生物基礎	2年生のうちに完成				授業と並行して問題演習												
地学基礎 or化学基礎	2年生のうちに完成				授業と並行して問題演習												
数学	基礎完成						授業と並行して 問題演習										
英語																	
国語																	

理型

	現在		3年0学期				3年									
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
化学	習いながら仕上げていく(既習事項は自分で復習)														最終 仕上げ	
生物or物理	習いながら仕上げていく															
地理	習いながら仕上げていく															
数学ⅠA・ⅡB	基礎完成 (Bは3月末まで)				(自分で演習)											
数学Ⅲ	(未履修)				習いながら仕上げていく											
英語	基礎完成						授業と並行して 問題演習									
国語																

<戦略的な学習を一志望校群を見据えて>

		共通テスト	二次試験
神戸	経済	400	400 国, 数, 英
神戸	理・数	375	425 数, 英, 理(2)
広島	教育・初等	900	800 国, 数, 英から2
広島	工・一類	900	1600 数, 英, 理(2)
愛媛	法文	750	570 国, 英, 調査書
愛媛	工	600	400 数, 理(1), 調査書
県立広島	地域創生 ・地域文化	700	200総合

志望校(群)の配点・科目 → 戦略

国公立大学に合格するためには センター試験で最低何点必要だったか。	
●最低ライン(5教科7科目)	→ 得点率60%前後
●県立広島大(3~5科目)	→ 得点率70%前後
●広島大(5教科7科目)	→ 得点率75%前後
●難関大(5教科8科目)	→ 得点率80%以上
* 得点率は平成23~31年度入試前期日程実績	
共通テストの得点によって 合格可能性はどう変化するか?	

まだ共通テストは未実施なため、これまでのセンター試験を参考に国公立大学の一般入試(現行)のしくみを復習してみよう。一般入試はセンター試験と2次試験の総合点で合否判定が行われる。これからは高い第1志望に向かってチャレンジすると同時に、難易度や地域、学部学科の幅を広げて「志望校群」を考えていくことになる。

「戦略的な学習」には教科バランスが必須であるため、モデルプランは裏面に示したとおりである。しかし、一人一人得意不得意教科は違い、また志望校の入試科目・配点も異なる。

左上は国公立大学前期試験の配点・科目の一例である。各自、自分の志望校群の配点・科目を把握した上で、自分が何

を優先して取り組むべきか、「戦略」を立てよう。また左下はこれまでのセンター試験でどの程度得点が必要だったかを示している。共通テストになっても同程度の得点率が必要であると考えられることに注意してもらいたい。

また、国公立大学に合格するためのセンター得点の目安も示した。共通テストをクリアしてはじめて二次力が発揮される。参考にしてほしい。

<センター得点と合否との関係>

右上のデータは令和元年度の広島大のセンター得点(自己採点)と合否の一覧である。一例ではあるが、D判定からではなかなか合格は難しいことがわかる。もちろん、第1志望の大学が今からA・B判定である必要はない。そのような目標設定はむしろ低すぎると言える。しかし、1年2ヶ月後の共通テストでは、A・B判定を目指さなければならない。また、この合否者の分布も、センター試験と二次試験の配点によって大きく変わる。今後、自分の志望校群の配点・科目を基に、共通テストと二次試験の目標点を決めていけるよう、教室に置いてあるデータネットを活用しよう。

広島大 教育 前					広島大 工・機械系 前				
1段階 倍 ()					1段階 倍 ()				
定員 102 昨年倍率 1.6					定員 122 昨年倍率 2.0				
得点	今年	昨年	合格	不合格	得点	今年	昨年	合格	不合格
750	3	9	8		750		4	1	
745					745				1
740	6	11	3		740				
735	7	15	3		735		5		
730	9	21	8		730		6	1	
725	10	23		1	725	3	9	3	
720	13	27	3	1	720	4	10	2	
715	15	32	4	1	715	7	12	2	
710	18	38	A 6		710	8		2	
705	20	41	2	3	705		15	2	
700	24	45	4		700	9	20	A 2	3
695	28	54	7	1	695	12	22	1	
690	32	65	9	3	690	13	25	7	
685	35	73	B 8	1	685	14	31	2	2
680	A 40	75	1	4	680	17		8	1
675	48	88	5	4	675	19	38	9	3
670	55	98	9	3	670	A 25	43	B 9	9
665	54	116	4	2	665	29	47	6	13
660	71	126	C 3	3	660	34	50	12	10
655	B 78	126	2	4	655	38	60	5	9
650	91	133	2	4	650	46	70	3	5
645	97	142	2	2	645	48	72	7	2
640	108	148			640	B 54	85	C 11	10
635	115	161	D 1	1	635	59	97		4
630	C 125	178		1	630	65	101	3	4
625	135	181		1	625	77	110	6	2
620	140	189			620	85	118	2	7
615	146	195		2	615	94	132	1	2
610	152	207		2	610	C 110	138	D 2	3
605	D 157	215		3	605	124	148		5
600	165	223			600	134	151		2
595	174	230		1	595	147	158		1
590	182	235			590	159	182		2
585	188	240		1	585	168	170		2
580	193	248		1	580	D 175	179		4
575	198	253		2	575	178	185		3

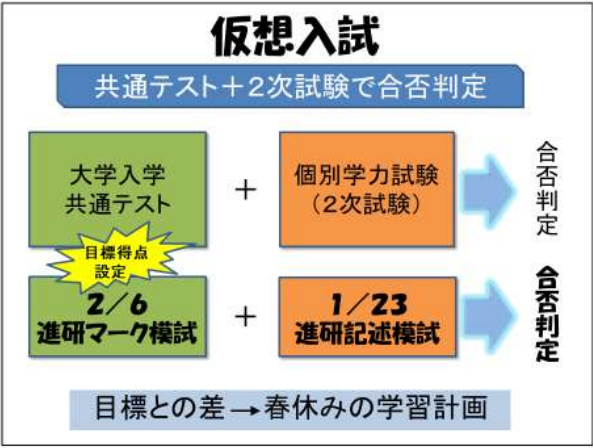
	教育・初等		工・機械	
	合格	不合格	合格	不合格
A	35	3	16	3
B	30	8	36	9
C	22	16	44	37
D	7	11	14	22
E	2	17	0	30
計	96	63	110	106

合格 > 不合格

合格 < 不合格

本番ではA・B判定を目指す

< 「3年0学期」の「仮想入試」に向かって >



2学期末考査が終わったら、「2年2学期」から「3年0学期」へと切り替わる。

3年0学期の中で重要なのが、「仮想入試」である。左のように、進研マーク模試と記述模試を、1年後の本番に見立て実施する。その結果と目標との差が、志望校合格のために、1年間で埋めていかなければならないギャップとなる。

裏面に示した「学習スケジュール」を自分の具体的な計画に落とし込み、この2つの模試に照準を定めて、学習を進めよう。

「授業＝受験勉強」である。焦らず、受験を意識した生活・勉強に変えていこう。